

2019年8月30日

組合員・賛助会員 各位

日本羽毛製品協同組合

理事長 河田 敏勝

(公印省略)

グルーダウン等不適正羽毛の鑑別試験方法について

拝 啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素は組合運営にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここ 2-3 年、グルーダウンなる品質を偽った羽毛が日本市場に製品の形態や羽毛原料の形態で上陸しており、当組合も昨年 5 月に理事長名でグルーダウンの取り扱いについての注意喚起文書を添付通り、皆様宛てに送付致しました。

グルーダウン等の不適正羽毛については、使用薬剤が不明で、人体に影響を与える可能性があり、健康被害が危惧されている為、当組合は昨年 6 月 IDFB(国際羽毛協会)タリン総会で問題提起を行い、昨年 7 月には新たに羽毛安全衛生委員会を立ち上げ、既存の技術委員会と並行して対応策を検討してまいりました。

本年 6 月の IDFB 中国六安総会ではグルーダウンの評価方法が中国羽絨工業協会から発表され、当組合もこの評価方法も参考にし、独自のグルーダウン等不適正羽毛の鑑別試験方法を 8 月発表し、この度ホームページの加盟社専用ページにも掲載した次第です。

と、同時にこの鑑別試験方法を補完する為に、羽毛安全衛生試験として、新たに

- 1) 一般生菌数測定試験
- 2) ゼブラフィッシュ胚発生評価試験(ドラフト試験方法)

を発表し、ホームページでの公示に加え、IDFB 関係国及び関係先にも通知致しました。

昨年 5 月の理事長文書にもある通り、当組合はグルーダウンの使用を認めておらず、グルーダウンが混在した羽毛を充填された場合は、ゴールドラベルの使用も認められません。

万一、原料メーカーより、グルーダウン等の不適正羽毛と思われる原料が持ち込まれた場合には、速やかに認定試験機関にて検査頂き、混入している場合は仕入先に返品の上、絶対に使用しないよう徹底願います。当組合も試買テスト等で検査し、市場からの排除・撲滅を目指していきます。

敬 具

平成 30 年 5 月 11 日

組合員・賛助会員 各位

日本羽毛製品協同組合

理事長 河田 敏勝

(公印省略)

グルーダウンの取り扱いについての注意喚起

拝 啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素は組合運営にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、皆さまにおかれましては、安心して安全な高品質の羽毛製品を作るために日頃から取り組んでおられる事と存じます。

さて、昨年より国内の羽毛業界では、原料や製品においてグルーダウン(大量に薬剤を用いた羽毛)という名称が露出してきたように見受けられます。すでに、ここ数年中国国内では、グルーダウンを使い、ダウン率やかさ高、及び清浄度などの各種品質試験を一時的にすり抜ける細工を行い、人体にとって危険性の高い製品が出回っていました。そして、昨年以降羽毛の価格高騰と共に急速にその製品が世界中に出回ってきました。こういった羽毛製品は、中国で大きな健康被害を起こしただけでなく、ダウンジャケットにおいてヨーロッパ安全基準の 100 倍の環境ホルモンが検出され問題となりました。

できる限り安価な羽毛を作る目的で、安全性を考慮しない薬剤がどんどん開発され、常識外に大量な薬剤が用いられるようになってきました。そして、薬剤加工された羽毛を使った製品は、健康被害が出る可能性が高く、品質クレームが頻発するなどということから国際的な問題となっています。特に問題なのは、素洗だけした不潔な羽毛に薬剤を大量に使用し粘着性を持たせて、ファイバー及びホコリ等を付着させた羽毛です。この羽毛は、精製処理を行うことなく製品化され、その製品の使用中に剥がれたホコリと共に薬剤やバクテリアやカビ類が人体に取り込まれてしまう可能性があります。さらに、これらの羽毛は現在の物性的な品質試験をすり抜けられるように加工されています。また、その製品の洗浄後、汚れやアカ、ホコリに大量のバクテリアやカビ類が発生して、強い悪臭を放ったり、元々かさ高が低い製品が、さらにかさ高が低くなるなどの問題も報告されています。

安全性の高い薬剤を適量使用した場合は問題ないのですが、許容量の数倍以上の薬剤を用いたためその薬剤がホコリと大量に吸着した羽毛や強力な薬剤で、バクテリアやカビ類も生存できないような羽毛は非常に危険です。羽毛よりも、はるかに薬剤の吸着力が高い微細なホコリがガス状に広がっていく際に、肺から直接人体に取り込まれるため健康被害が出る可能性があります。

このような理由から当組合は、安全性の観点よりグルーダウンの使用を認めないことと致します。

ゴールドラベル製品につきましては、品質推奨ラベルとして販売されていることよりグルーダウンが混在した羽毛を充填された場合は、ゴールドラベルの使用も認められませんのでご注意願います。今後、当組合では早急に羽毛の安全性を試験する手法を検討し、グルーダウンにつきましても試験方法が確立出来次第公表し、同時に試験機関にて試験を開始致します。

引き続き、組合員及び賛助会員の皆さまにはご理解とご協力をお願い致します。

敬 具